

細則様式第 4 号

論文審査及び最終試験結果報告書			
氏 名	荻原 啓文		
入学年度	平成 30 年度	学籍番号	18GG901
領 域	総合リハビリテーション 科学領域	分 野	
審査委員	主 査	高見 彰淑	
	副 査	中村 敏也	
	副 査	高橋 純平	
	副 査	對馬 栄輝	

論文題目： 脳卒中片麻痺患者の歩行特性が転倒に及ぼす影響

審査結果要旨：

本研究は、脳卒中片麻痺患者の転倒を予防するための歩行評価に着目した研究である。歩行中の関節角度を用いた「運動学的歩行非対称性」による転倒予測を考案し、第一段階では歩行中の下肢関節角度を用いた「運動学的歩行非対称性指標」を開発し、脳卒中片麻痺患者と健常者の比較から運動学的歩行非対称性の存在を明らかにした。第二段階では、脳卒中片麻痺患者を対象に、従来用いられてきた歩行非対称性指標と運動学的歩行非対称性指標との基準関連妥当性を検討し、同時に臨床指標との関連をみることで有用性を明らかにした。第三段階では、脳卒中片麻痺患者を対象に、運動学的歩行非対称性指標と転倒および転倒恐怖感との関連について多変量解析等を用い明らかにした。

歩行の様子を定量的にかつ包括的に表そうという試みは臨床上意義のあることである。それを導き出すために歩行中の下肢関節角度を用いた運動学的指標に着目し、簡便な指標を考案した点について、新規性かつ臨床的価値があると考えられる。

学位審査論文及び学位審査会では、先行研究や関連文献の精読のもとに実験計画が立てられ遂行されたものであり、質疑応答では研究の意義や結果の解釈についての質問にも的確に回答できていた。以上より、本論文は博士の学位に値するものと考えられる。

最終試験 令和 3 年 1 月 22 日

試験の結果は 合 格 ・ 不合格 と判定する。